

東京メトロ日比谷線「銀座駅」に 新たにパブリックアートを設置します！

～世界的漫画家・大友克洋氏が原画・監修～

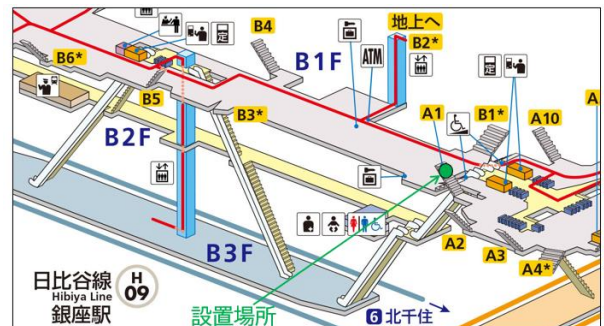
東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：小坂 彰洋、以下「東京メトロ」）では、ゆとりと潤いのある文化的空間の創造を目的に、駅の新設やリニューアルに合わせてパブリックアートの設置を推進しています。このたび、2025 年 12 月 15 日（月）より、日比谷線銀座駅にパブリックアートを設置します。

作品の原画と監修は、東京を舞台にした数々の作品で知られ、都市を独自の視点で描写する圧倒的な表現力を持つ国際的に著名な漫画家、大友克洋氏が担当します。本作品を通じて、「銀座駅」に新たな彩りと活気をもたらし、駅空間をさらに豊かで魅力的なものへと昇華させることを目指しています。

今後も東京メトロでは、パブリックアートの設置を進めていく予定です。銀座駅をご利用の際にはパブリックアート作品を是非お楽しみください。

■銀座駅パブリックアート概要

- ・ 作品名 : Procession Spin
- ・ 原画・監修 : 大友克洋
- ・ 作家プロフィール : 1954 年宮城県出身。代表作「AKIRA」などの作品で海外でも名高い漫画家・映画監督。独特な作風で、1980 年代以降の漫画界に大きな影響を与え、欧米でもカルト的な人気を得た。2005 年仏芸術文化勲章シュバリエ受章、2012 年には米国アイズナー賞でコミックの殿堂入り、2013 年に日本政府より紫綬褒章を受章、2014 年米国アニー賞で生涯功労賞にあたるウィンザー・マッケイ賞を受賞、フランス政府から芸術文化勲章オフィシエを授与された。
- ・ 作家コメント : 縄文から現在へ、そしてその先へと続いていく美術の流れを、ひとつの形にしました。時代ごとに人が表現したかった想いや祈りのようなものが、形を変えながら受け継がれていく。その連なりの中から、自分が惹かれ、心に残り続けている断片を並べています。多くの人の手が加わり、色が生まれ、立体として立ち上がっていききました。ここから先は、もう作品は見る人のものです。通りがかりにふと立ち止まって、近づいたり離れたたりしながら、それぞれの中に何か感じるものがあれば嬉しいです。
- ・ 仕様 : 陶板レリーフ
- ・ サイズ : 縦 2.4m×横 7.0m
- ・ 設置場所 : 東京メトロ日比谷線「銀座駅」
B1 番出口付近
- ・ 協賛 : セイコーグループ株式会社、
公益財団法人メトロ文化財団



<日比谷線銀座駅構内図>